

令和4年度 第2回小山市民フォーラム 議事録(定稿)

1. 日時 令和4年11月26日(土)14 時～17 時

2. 会場 小山市役所6階大会議室 6a～d

3. 参加者等

(1) 運営委員7人

阿久津 治(委員長)、佐藤 佑子(副委員長)、荻谷 悠樹、伊藤 弘子、戎 奈央、
海老沼 和彦、竹本 真誠

(2) 参加者

① 参加者 38人

② 傍聴 一般8人

③ 協力 とちぎ高校生蔵部4名

(3) 小山市 浅野正富市長、濱口隆晴教育長、吉澤安総合政策部長、坪野谷統勇総務部長、小林典子保健福祉部長、市民生活部長代理今泉由美子市民生活安心課長、目徳有一産業観光部長、須郷幹雄都市整備部長、上野信茂教育部長、諏訪良作消防長、町田哲男危機管理監

(4) 協力課 宮田晃代生涯学習課長、酒巻誠、大巴樹音

(5) 事務局 篠原正シティプロモーション課長、柿崎泰延シティプロモーション係長
江田英郎移住定住推進係長、松本卓、福田直行、椎名悠

4. テーマ「おやま MIRAI 若者会議～For Better Oyama～」

5. スケジュール

1. 14:00 開会

2. 14:00 あいさつ(市長、委員長) (5 分)

3. 14:05～17:00 おやま MIRAI 若者会議～For Better Oyama～

<14:05～14:10 オリエンテーション (5 分)>

・今日の流れ説明

<14:10～14:45 キーノート (35 分)>

14:10～14:15 ・イントロダクション (5 分)

14:15～14:20 ・小山市について (5 分)

14:20～14:30 ・アンケート結果について (10 分)

14:30～14:42 ・若者のまちづくり事例紹介(とちぎ高校生蔵部より)(12 分)

14:42～14:45 ・グループワーク説明 (3 分)

<14:45～14:50 休憩 (5 分)>

<14:50～15:50 グループワーク (60 分) >

・5 グループに分かれてワーク

・アイスブレイク(自己紹介)

・テーマに沿ってディスカッション

①小山という“まち”をどう感じている？（10分）

②小山に足りないものは何だろう？（10分）

③若者が活躍するまちにするためには何をしよう？（20分）

④行政に言いたいこと、聴きたいことは？（20分）

<15:50～15:55 休憩（5分）>

<15:55～16:20 グループ発表（25分）>

・1グループ5分（質疑含む）

<16:20～17:00 意見交換（40分）>

4. 17:00 記念撮影

5. 17:00 閉会

6. 発言

○篠原シティプロモーション課長

皆さま、こんにちは。定刻となりましたので、只今から、令和4年度第2回小山市民フォーラムを開会いたします。司会を務めますシティプロモーション課の篠原です。どうぞ宜しくお願い致します。開会にあたりまして浅野正富小山市長よりご挨拶申し上げます。宜しくお願い致します。

○浅野市長

（挨拶）

○篠原シティプロモーション課長

ありがとうございました。続きまして、本日の参加者をご紹介します。本日は、30歳未満の15歳から29歳の38名の参加者、8名の傍聴の方にご参加いただいております。ありがとうございます。

それでは、本市民フォーラムの運営委員として、企画・運営にご尽力いただいております8名の市民の方を代表して、阿久津委員長より挨拶をお願いします。

○阿久津運営委員長

（挨拶）

○篠原シティプロモーション課長

ありがとうございました。

それでは、そのほかの運営委員の皆さまをご紹介します。

副運営委員長 佐藤 佑子（さとう ゆうこ）様、

運営委員 海老沼 和彦（えびぬま かずひこ）様、

同じく 戎 奈央（えびす なお）様、
同じく 伊藤 弘子（いとう ひろこ）様、
同じく 竹本 真誠（たけもと まなせ）様、
同じく 壺谷 悠樹（いちたに ゆうき）様 です。

また、平成26年4月から栃木市で設置され活動されている「とちぎ高校生蔵部」のメンバーの方に、協力者として参加いただいております。このあとの壺谷委員のキーノートの中であらためてご紹介いただきます。

続いて、市の出席者をご紹介します。

改めまして、浅野正富市長、濱口隆晴教育長、吉澤安総合政策部長、坪野谷統勇総務部長、市民生活部長代理今泉由美子市民生活安心課長、小林典子保健福祉部長、目徳有一産業観光部長、須郷幹雄都市整備部長、上野信茂教育部長、諏訪良作消防長、町田哲男危機管理監です。

また、本日の市民フォーラムは、テレビ小山放送で録画され、後日コミュニティチャンネル等で放送されますのでご承知おきください。また広報おやまへの記事用に撮影させていただきますのでご了承ください。

それでは早速はじめます。ここからは壺谷運営委員に進行をお願いいたします。

○壺谷委員

運営委員の壺谷です。どうぞよろしくお願いいたします。それでは早速、今日の流れをご説明いたします。タイムスケジュールをご覧ください。

（タイムスケジュール説明）

続いて本日のキーノートです。

（キーノート説明）

以上となります。いったん進行を事務局にお戻しいたします。

○篠原シティプロモーション課長

ありがとうございました。5分間換気を含め休憩いたします。なお、次のグループワークについては、参加者と運営委員のみで行いますので、市長をはじめ市側と傍聴の方はいったんご退席をお願いいたします。

また、本日参加者の方に、特典として「小山の魅力を体感できるイベント」「小山市生涯学習センターの講座企画」を用意しております。後方ホワイトボードおよび資料に一覧がありますので、次の休憩の時間までにお名前を付箋でホワイトボードの希望表に貼っていただくようお願いいたします。

（休憩）

○篠原シティプロモーション課長

それでは、再開いたします。壺谷委員よろしく願いいたします。

○壺谷委員

運営委員の壺谷です。どうぞよろしくお願いいたします。

(グループワーク説明及びグループワーク)

みなさんグループワークありがとうございました。進行を事務局にお戻しいたします。

○篠原シティプロモーション課長

ありがとうございました。5分間換気を含め休憩いたします。次のグループ発表・意見交換については、再度、市長をはじめ市側及び傍聴の方が参加されます。

またさきほどご案内いたしました、参加者向け特典について、希望表にお名前の付箋を張り付けていただきますようお願いいたします。

○篠原シティプロモーション課長

それでは、再開いたします。壺谷委員よろしく願いいたします。

○壺谷委員

それでは、グループ発表を行います。発表は1チーム3分以内、参加者からの質疑応答2分です。大人の方からの質問はぜひ意見交換の場をお願いいたします。それでは、Aグループから、準備終了後発表をお願いいたします。

○A グループ

小山という街については、歴史があったりすごい手ごたえを感じます。一方、小山に足りないものですが、若い人が遊べる場所が少ない、学習環境、みらい塾などあるが混みあっている、もうちょっと改善できないかと意見が出ました。サードプレイスは、駅、カラオケ、カフェ、小山は基本的にそろっているものが多いですが、若者が遊べる場所ができれば、そこがサードプレイスになるという話になりました。お店ですが団体で行っても、高校生や大学生がわちゃわちゃしてもいいようなお店が増えるといいなと、我々は考えました。

続きまして、若者が活躍する街にするためにはについて、意見としては、若者だから気嫌いいなという意見が出て、駅とかで、おばあさま達から、視線が痛いなという気持ちがあり、温かい目で高校生が見守られるまちになればさらにいいな、と思いました。

まず、若者中心のイベントがあったらいいなと思いました。考えたのは、縁日風のイベント。金魚すくいとか、やぐらとかあれば、高校生が来ると思います。フェス、バンドや演歌、ステージ発表で芸能人を呼んだら、人が呼べると思います。考えたのが、各種選手権、一番大声を出した人に景品を渡すとかあれば、高校生がノリで参加してくれると思います。一発芸など、自信

のある人がステージで発表すれば楽しいイベントになると思います。

場所は、御殿広場や文化センターでできたらいいなと思っています。実行は、若者中心で地域の大人たちにも協力をもらえたらいいなと考えています。

行政に言いたいこと、聞きたいこと、まず街灯がなくて危険。夜の小山駅が怖いという意見が出ました。やっぱり、スケボーしていて、治安が大丈夫か、声をかけられたら嫌だな。暗いと女子高校生は怖いです。街灯を増やしてくれると助かります。

他の意見としては、電車の本数を増やしてください。両毛線、一時間に1本、乗り遅れたら駅で待っているか、駅ビルに何も無い。中のお店すかすかじゃないか、どこでつぶせというんだというところで、駅ビルに高校生がお店を出そうという意見も出ました。高校生がお店を出店して、出店の例としては、お惣菜を高校生が作って、駅を利用する大人たちが買ってくれたらいいとか。インスタ映えのスポットや、フード・ドリンクを作ることで、流行っている、今流行としては、韓国風のもの、そういうお店を高校生が出店できたらいいなって思っています。期待しています。お願いします。

○壺谷委員

ありがとうございます。切実な課題から、自分たちでどうやろうか、フェスとか、イベントとか、お店とか。とても発展的に考えて、とても素晴らしいと思います。ほかのチームの皆さん、何か質問ありますか。A グループの皆さんありがとうございました。

続いて B グループの皆さん発表よろしくお願いします。

○B グループ

私たちの話し合いの中で出た意見で、高校生主体のイベントとか開きたいとありましたが、小山に高校生まちづくりプロジェクトというのがあるんですけども、誰も存在を知らないみたいで、掲示がさくら道に貼ってあるんですけど、あそこ誰も見ないと言っていましたので、貼る場所を違う場所をお願いします。

若者が活躍するためには、隣の下野市が高校生主体の音楽イベントをしていたんですけど、僕自身、そこに出演して、そういうの小山市でも主体でやってほしいなっていうのは意見としてあって。お願いします。問題点としてあったのが、治安の改善で、小山駅周辺のスケボーの集団だったりとかは、特に南口改札の跡のほうは、スケボーの車輪の跡がすごくて。禁止にはなっているのですが、パトロールお願いしたいなと。タバコも禁止と書いてあるんですけど、そこもお願いしたいです。両毛線の本数、先ほども意見があったんですけど。両毛線の乗り場と改札が遠くて、遠いのに 1 時間に一本しか通ってなくて、みんなダッシュで行くような感じで、そこも混雑するから、本数とか行きやすくしてほしいなと意見が出ました。

高校生がもっと楽しんで生活するためには、若者の意見をもっととりいれる必要があると思

います。流行のご飯やお店だったり、もっと早く取り入れられると、街に高校生が行きやすくなると思うので、取り入れてほしいと思います。

校則になってしまうんですけど、やっぱり東京とか都会の高校になるにつれて、校則がゆるかったり、スカートの長さが短かったり、髪だったり、メイクだったり、ピアスだったりなども許可されてるところが多くて。小山とか栃木県全体は、校則がすごく厳しいとっていて。スカートが膝下だったり、髪は黒で染めてはだめというのは、やっぱり大学生とかになるとメイクをしたりするのが当たり前で、そういうのをもっと早く、高校とかからやった方が、大学生になったときにもいいと思うし、ちょっと緩くしてほしいんですけど、学校の先生の頭が固いので、学校の先生が考え方を変えてほしいなと思っていました。

最後に、小山のいいところについて発表したいと思います。医療や介護だけではなくて、健康を保つための予防や、高齢者の社会参加が評価されて、シニアにやさしい総合ランキングで全国第2位が、小山の自慢できるいいところと思いました。以上です。

○壺谷委員

ありがとうございます。校則問題、おじさんにわかりやすく解説してくれてありがとうございます。意図がよく分かりました。他のグループの皆さんから何か、質問や意見ありますでしょうか。Bグループの皆さんありがとうございました。続いてCグループの皆さん、発表よろしくお願いします。

○Cグループ

小山市に足りないものとはということで、勉強スペースが足りないだったり、大きなイベントがないということだったり、娯楽施設もないし。高校からおバスに乗ってるのですが、夜が、街灯が少ないので、暗いし。イルミネーションとかあったら、乗る人も増えると思うし。新幹線ももっととめてほしいみたいな意見が出て。外国人の人も交えて意見を交換するだったり、道にゴミが落ちているという意見もあって。学校とか、学校自体にボランティアに積極的に取り組めるように、場だったり、チラシとかを配っていただきたいという意見が出ました。それで、特産がいろいろあると思うんですけど、お米だったり、ブランド物のお肉だったりいろいろあるんですけど、その中で、PR力が足りなくて、SNSをもっと利用したほうがいいと意見が出ました。私も小山市に通っていますが、家は下野市ですが、ぜんぜん知らないことが多くて。このような機会とか、パンフレットとか、SNSとか、もっと活用させて、たくさんの人に知らせていくみたいなことがあったらいいなと思いました。

若者が活躍する街にするためには、今ある行事を若者が運営してみるとか、ボランティアの紹介とか、ボランティアを情報発信するっていうことが大切だと思うという意見が出てたときに、若者が主催のイベントなどを開けるように、もう少し情報が欲しいなと思います。あとは駅

にストリートピアノを置いたりして、有名人を呼んだりして、もっと YouTube とかで配信できるようにしたいと思います。自然が綺麗とか、穏やかという意見もあったので、自然を使って SDGs に繋がる活動とかももっとできるといいと思います。

私は大きく分けて三つ言いたいと思っています。一つ目は、ボランティアとかの情報発信について言いたいなと思ひまして、ボランティア、自分の通っている高校は、ボランティアの情報がたくさんあるかって言われたら、微妙な数、あまり積極的に取り組んでるかなといわれるとちょっと取り組んでないかなと思ってます。なので、ボランティアの情報発信が足りてなくて、高校まで情報が来ると嬉しいなと思っています。また、そういう今、小山市のプロジェクトがありますが、私は下野市から通っていますが、市外からそういう場に、積極的に参加できるかって言われると、なかなか小山市のことをつかみづらくて、なかなか参加できないなっていうのがありますので、そういうきっかけ作りにもボランティア活動は増えて欲しいなと思っていました。

二つ目、若者が積極的に活動できる場ということで、若者主催のイベントとか、今ある行事を若者が運営するっていうのもあるんですけど、若者が主体でやることによって、それを次、第1回、第2回、第3回と繋げていくことで、若者が活躍することと出来るのではないかって。それは、小山版の蔵部(クラブ)を作るっていうのも、そこにつながってくるんじゃないかなって思いました。

最後三つ目に、バスの話で、路線バスが欲しいという意見も出て。学校に通うためにも、今ある交通ラインからもうちょっと路線バスと両毛線の本数、先ほど言っていたグループもありますが、増やしてほしいなと思っていました。

○壱谷委員

ありがとうございます。しっかりカテゴライズしていただいたと思います。質問、意見あるかたいらっしゃると思いますか。ありがとうございます。続いて、Dグループで発表よろしく願ひします。

○ODグループ

Dグループ発表になるんですけども、まず一番の小山という街をどう感じているかについて、だいたい出た意見が似たようなのが多くて、固めてみたんですけども、いい点としては、学生が多いというのがあって。あとは美味しいご飯がある。あといちごもあります。それから、結構便利。大学病院が近かったり、小山駅にドン・キホーテとか入っていて、食品とか日用品とか買ったりしているんですけども、そういうところで便利という意見ができました。

悪い点では、名物と言えるものがない。あと、治安が悪い。遊べる場所が少ない。自然が少ない。あと、悪い点に一番多かったのが、交通関係なんですけれども、道が狭かったり、歩道の無い道があったり、歩行者専用の信号がなかったり、バスの本数が少なかったり、結構出ました。

2番の小山に足りないものはなんだろうっていうのなんですけども、集客、人を集めるテーマパークやショッピングモールとかが欲しい。魅力がある街にすると都心から来てくれる人が多くなりそうなのでっていう意見で、こういういろんな施設とかを作ってほしい。

それから勉強できる場所、学生が多いという意見も結構出てきたので、勉強できるスペースが欲しいよって言う意見もありました。

それから、やっぱり悪い点に一番多かった交通の面。道路の幅の拡張、特に旧4号線。カーブミラーを増やしてほしいという意見が出ました。

若者が活躍する街にするためには何をしようっていうことなんですけど。まず一番多く出たのがイベントという面についてですね。若者中心の話題性のあるイベントを行うや、学生集めて話し合いとか、イベントの企画をしたり。いろんなスポーツとかの大会を、小山でやったらいいんじゃないかという意見が出ました。それをするために、意見を言いやすい社会にするとか。イベントをみんなで認知してもらう力が必要だなんていう話が出たりとか、インスタグラムやツイッターで活動を宣伝するのが大切じゃないかなみたいな意見も出ました。そこに繋がってくるんですけど、イベントを行うために、若者が自由に活動できるように、行政の方々に場所の貸し出しや、チラシの配布等の許可を取りやすくとか。そんなところが出ました。小山市民ホール、あるじゃないですか。あそここの前いったんですよ、学校で使わせていただいたんですけど、そのときに、イベントが、だいたい有名人の方がくるイベントが多くて、それもいいんですけど。各学校の吹奏楽部や演劇部とか。書道部やダンス部等の発表のところに使えないかなと。許可をとることは可能かなと思いました。

もう一つ他校や若者の交流を増やすということなんですけど、学校行事の予定を立てるのは学校なんですけど。いろんな学校の予定を行政の方に集めていただいて、予定をずらしていただきたいなと思いました。文化祭とかって他校を知るために一番効率の良いイベントだと思うんですよ。今年も男子校の女装大会見たかったのに行けなかった、日にちが一緒で行けなかったと嘆いている子がいたんですよ。他校のイベントにも行けるように、ずらすように学校側に伝えていただきたいなと思います。

あともう一つ、選挙についてなんですけど。若者が積極的に選挙に参加するために、若者の使うインターネットを使って、若者たちの選挙参加率を上げるっていうのはどうだろうかみたいな意見も出ました。以上です。

○壺谷委員

ありがとうございます。Dグループの皆さんに対しての御質問とかいらっしゃいますか。最後、Eグループの皆さん、発表がよろしくをお願いします。

○Eグループ

私達Eグループからは、3つの意見が主に出まして、環境・交通・国際についてが出ました。私

からは環境について発表させていただきます。まず、いいところが、小山市は住みやすくて充実していたり、施設が結構多かったり、図書館などの勉強スペースも結構あって、住みやすいつていうのはありました。改善点としては、良い点でも、施設には触れてていたんですが、改善点でも施設のことが出て、休憩スペースが少ないとか、ゆっくり過ごせる場所がなかったり、人々との交流の場所がない。他にも、遊ぶ場所が少ないとか、そういうような意見がでました。で、私たちができること、改善できることは、勉強スペース、フリースペースなどの運営を高校生ができないものかという意見があったり、駅の空きスペースが結構残ってるので、それを有効活用できないかとか、あとは小山市の若者同士でのスポーツ大会などを企画できないか。ほかの人とのコミュニケーションを、それを機に取れたらいいなという意見がありました。最終的には1人1人が小山に興味を持てたらいいなという意見でまとまりました。環境からは以上です。

続いて、私から交通についてお話をしたいと思います。小山市でいいところで多く出たのが、交通の便がいいという意見がでて、新幹線が通っていて、小山市内で新幹線に乗って様々なところへ行けて、行動範囲が広げられて、自由度が上げられます。しかし、公共機関などは、栄えていますが、私達が毎日普段から使っている道路などは、自転車は例えば左側通行で、左側通行しなきゃいけないけど、道路が狭くて、危ないという点と、私部活をやっている、夜に帰ることが多くて。帰り道に、街灯が少なく、道が見えなくて、この前は電柱に当たりそうになりました。それなので、街灯を多くしてもらいたいです。細かい点については、車や自転車って、歩行者に気を使わないといけないじゃないですか。私は、通学でよく、信号がない横断歩道をよくわたるんですけど、その歩道を渡るためには、車や自転車が思いやりを持って、協力していかないと、ずっと渡れない状態になってしまうので、今からできることは、1人1人が思いやりを持つことだと思います。交通からは以上です。

国際について発表します。小山市は外国人がすごく多くて、最近特に増えている気がします。それに対して、自分も外国人ですので言えるんですけど、体制が整ってない気がします。例で言うと、病院などの問診票が日本語だけだと、答えられなくて、苦勞する外国人は、私の周りにはたくさんいます。なので、問診票の翻訳だったり、あくまで1例になるんですけど。小さいことをやることで外国人はすごく感謝しますし、小山市は住みやすいと思える街になると思います。また、若者が活躍できるイベントとして、国際交流。外国人が多い、相互理解のために外国の食事、文化、またダンスやゲームなどを、イベントなどで披露して、高校生だけでは、運営することは難しいと思うんですけども、若者が運営を手伝ったりとかして、国際交流、国際イベントなどを披露することがいいと思います。国際からは以上です。

○壺谷委員

ありがとうございます。質問ありますでしょうか。ありがとうございました。このあと、今発

表していただいた意見を踏まえて少し時間は短くなりますが、意見交換ということで進めたいと思います。今、多く出た意見もメモしましたので、この辺を参考にしてみてください。

○篠原シティプロモーション課長

それでは、意見交換に移ります。たいへん申し訳ございませんが、時間が無くなってしまったので、午後5時まで意見交換で、場所はそのまま阿久津委員長の方に先ほどの意見を踏まえて、大人と若者でそれぞれ意見交換をしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○阿久津委員長

はいそれではですね、意見交換という形で、午後5時までですけれども、どういうふうにやろうかな。班ごとに委員がいるのですが、副委員長どうでしたお話聞いて。何か、行政に投げかけたいこととかありましたか。何か発表できれば。

○佐藤副委員長

ちょっとうちの方で、二つほど発表できなかったものがあるので、市に対してクエスチョンがある方が、2人いるので、ぜひ紹介したいと思います。

○Bグループ

最近、小山市で私の家族や大人の人から聞いたんですけど。小山市はお金がないという話をよく聞きます。例えば、花火大会や、今回市役所の改築などで、財政について問題が起こらないかという心配があります。

○阿久津委員長

素晴らしい質問じゃないですか。お答えしましょうか。

○吉澤総合政策部長

吉澤です。私の総合政策部で財政ということで、小山市お金をお預かりしております。今の質問ですね、小山市はお金がないということなんですけど、決してお金がないというわけではなくて、そのお金の使い道をいろいろなものに使ってます。いろんな意見が出ました、道路であったりとか、イベントもお金を使ってますし、また皆さんが医療費が中学生まで無料だったんですけど、今度高校生までになりますが、そういうのにお金を使ったりとか、いろんなところにお金を使ってます。ですから、預かった税金をそのように効率的にいろんなところに使っています。実際にお金がないのかということではない。実際に財政の方も徐々に貯金も増えてきておりますから、そういう心配はございません。これから、またどういうふうな経済状況がわかっていかわからないのでなんとも言えないですけど、現時点でね。そういうことで、さっき出たイベント等も、花火大会が小さくなったというふうに言われてるんですね。これも、

コロナ渦の中で、やっぱりああいうふうな分散でしか、やれなかったんだけど、徐々にまた、ウィズコロナということで、普段と同じに戻っていくと思うし、それに対して市の方も全面的にバックアップをしていきますから、そういうことは今のところないですので、安心していただければと思っています。よろしくお願いします。

○阿久津委員長

ありがとうございます。もう 1 人いたかな。はい。

○OB グループ

市民に何か、お祝いみたいなものがなくなっちゃったなと思って。お赤飯、前まで、おじいちゃん、おばあちゃんのやつですけど、お赤飯をもらえなくなったのがすごい残念で。

○阿久津委員長

おじいちゃんおばあちゃんにお赤飯が市から届いてたんだね。自治会。届ける人たちっていうのがまた違うみたいで、それは市の人が届けてるわけじゃないから。ではお願いいたします。

○小林保健福祉部長

小林です。高齢者の敬老事業のことで、各自治会で高齢者の方を対象にした、お祝い会ですか、そういったものをしていただいているんですが。やはりコロナの関係もありまして、今までですと、公民館に集まってみんなでごはんを食べようっていうところが出来ただけけれども、やはりなかなか難しくなって。今年などは 2000 円の商品券というか、市内のお店で使える商品券に変えて、配ったりということで、形を変えて、自治会の方でそれぞれ考えてやっていただいています。市の方はその補助をさせていただいているところなんです。その関係で今までと違ったやり方になっていたのではないかと思います。よろしくお願いします。

○阿久津委員長

ありがとうございます。他はいます？聞きたいことやりたいことアピールしたこと。はい。

○OD グループ

先ほど発表で、聞き方があやふやになってしまったんですけど、小山市民ホールってあるじゃないですか。あそこの利用って高校の部活での利用とかって可能なんですかね、利用条件とかってありますか。

○阿久津委員長

これに対しては、教育部長かな。

○上野教育部長

教育部長の上野です。ただいまのご質問にお答えします。原則的に一般の利用と一緒にです。ですから使えないわけではないです。ただし、料金が発生してしまいますので、その辺が現実的にどうなのかなってところがちょっと心配するところです。答えになってますか。大丈夫ですか。よろしくお願いします。

○阿久津委員長

ありがとうございます。ということは、料金をつけられればできるということだからね。そこら辺をこれから、できる方法もきっとあると思います。あと二人ぐらい。A グループ、先ほどお話の中でなんだっけ。どうすれば縁日みたいなイベントができるか、高校生で。

○A グループ

私たちが考えた、縁日風イベント。まず、現時点であるイベントが、ちょっとお高めな、出店がお高めになってないかなと思って。高校生、行くぞいという感じがあって。もうちょっと安い値段で、高校生なので、質までは求めてないんですよ。かき氷で全然うれしいですし、金魚すくいとか、500円以内で提供されてたら、みんな行くと思います。友達誘って。芸能人が難しかったら、ちょっと有名なティックトッカーとかでも、全然くると思います。高校生、大学生を中心として、運営は頑張っていきたいと思ってるので、その、支援は大人の皆様、よろしくお願いいたします。

○目徳産業観光部長

産業観光部長の目徳です。ご意見ありがとうございます。皆さんからのご意見、非常にやる気があるエネルギーを感じました。ありがとうございます。いまでも、皆さんが御殿広場という場所をよくご存じで感心したんですけども、市役所の横の広場ですね。月に一度ぐらいは、マルシェなんかも開催しています。あと、まちの駅・思季彩館でも、いろんなイベントとかしています。そういうところで出店側として皆さんが協力されたいという立場と、あとお客さんの立場でまわってみたい立場、両方あるかと思うんですけども。まず、出店側として関わりたいという希望の方がいらっしゃるようであれば、例えばメンバーを集めていただいでですね、企画を作っていただいたらいかかと。商業観光課という課があるので、例えばピクニックマルシェとかも手続きさせてもらってるんですけども、いつ頃にどんなことをしたいとか企画して。さっきあったように、お金もかかると思うんですね。材料集めたりとか。お店を呼ぶのは交渉になると思います。それで、感じるなかで一番いいのは、ピクニックマルシェやってるんですけど、そこのお手伝いをまずしていただくこととかいかがでしょうか。そういうところから始めたら、運営側と店側それぞれあるので。まずは運営側で、どんなお店を集めたら皆集まってくれるかなって企画側の方、そういう方に紹介して一緒にやるって言っていただければ、多分、喜んでくれるんじゃないかなというふうな感じがします。あとお客様として参加されるんだって

ら、そうですね、みんなで集まってもらってここ2・3年ほど、コロナの状態、皆さんご不便したかと思うんですけども、それはお金ない中で、もっと安くしてよと言えるかもしれないし、安い店を呼んでほしいと運営側にもお願いできるかもしれません。儲かる、儲かりそうなお店がだんだん増えてくるっていうのは、それは経済の理屈で、人気ある店はどんどん出てくるし、人気なければたたんでいくということもあるかと思うので、しっかり皆さん声出して、こんなことして欲しいとかっていうのを、意見いただけたらいいなと思います。お願いいたします。

○阿久津委員長

ありがとうございました。はい。時間も時間なのでね、そろそろ質問の方はもう終わりだと思うんですけど、行政側から何かありますか。一人手を上げていますので願います。ラストということで。

○OEグループ

聞いてみたんですけど、ハーベストの拡大計画について、何か意見が出てたんですけど、実際可能ですか。私、小山市の南半田に住んで。道路を拡大したいという意見があるんですけど、土地の利権とか、おじさま方が、1人反対するとそれだけで、全てがだめになるとかあるんですけど。実際もしも、ハーベスト拡大するとして、田んぼとか、使わなくなってるパチンコ屋さんとかあるじゃないですか、パチンコ屋さんがつぶれて。そこで、行政からのある程度の、クッションというか、後押しといいますか、お願いできますかというのは。実際、いけますかね、何か。やぶさかな質問ですが。

○阿久津委員長

そうなってくるとこれは都市整備部長いかがでしょう。

○須郷都市整備部長

都市整備部須郷といいます。最後の質問の答えにしては、いい話ができなくてすみません。はっきりしたことは言えないのですが、市役所的に硬い話をすると、いろいろ、土地それぞれ条件があるので、場所によって個別に相談してもらって、話が整えば実現します。

○阿久津委員長

ありがとうございます。それぞれのお立場もありますので、勝手なことを言えないところがある。どういうところになりますね。お時間ということで、大丈夫ですか、はいじゃあお返しします。

○篠原シティプロモーション課長

ありがとうございました。それでは意見交換の最後として、浅野市長とですね、それと高校

生代表で白岩大夢さんに、感想などいただきたいと思います。

○浅野正富小山市長

最後、ABCDE ですか。各グループからいろんな発表ありました。それを聞いてて思ったのは、行政って高校生とか大学生っていうのは、基本的にそれぞれ学校があるので、学校にお任せするみたいな感覚がどうしてもあるんですよね。今日聞いてると、学校の垣根を越えたり、あるいは学校と関係なく直接いろんな社会と、あるいは行政と関係を持ちたいところで、いろんなご意見が出てくるのかな。今までどちらかというと、その若者の方たちの意見を直接受ける、その部署っていうのが、市役所の中になかなかないんですよ。高齢生きがい課とかね、そういう高齢者の方に対する相談とか、あるいは子育て、お父さんお母さんの相談に乗るところはあるんだけど、高校生は、例えば先ほど言ったように、いろんな催しをやりたくて、どっか借りられませんかとか、フリーなスペースないですかみたいなところで、市役所どこ相談したらいいですかって言ったときに、市役所が、ここきてください、なんでも聞きますよっていうところが、今までそういえば、無かったなっていうことを今日改めて気がつきました。それで、4月からは小山市は生涯学習センターというのを直営化ということで、市が直接やることを5年間やってみようということをやりますけれども。そのときに、生涯学習なので、もうね、子供から本当に高齢者まで全ての人がいろんな学習できる場を提供していこうということを考えていて、若者の方たちをどういうふうにな、生涯学習センターの中で対応してつたらいいたろうかみたいな議論が出てたんですけれども、今日皆さん方の意見を聞くんですね。やっぱりそういう相談とかを、例えば生涯学習センターに気楽にできるとかっていうことができる、何かいろんなことができそうな可能性をちょっと感じました。もちろん皆さん中のご希望を全て、受けつけて解決するわけには行かないけれども、例えば先ほどのピクニックマルシェに参加してみたいときに、生涯学習センターの相談窓口の人といろいろ話をしてる中で、市役所のどここの部署行ったらいいとかいうようなことで、アドバイスを受けたりとか。そういうこともできるだろうし、そういう意味で、これから若者の方たちのご意見をある程度生涯学習センターの中で受入れられるようなことを考えたらいいかなと、今日そういうことをこの場でみなさんの議論を聞いて思いました。すぐに、皆様方の思ってることを100%行政が実現することはできなくて、これは若者に限ったことでなく全ての世代に対してそうなんですけれども、市民が主役って言ったときに、若者の人たちっていうのが、一定割合いらっしゃって、今までどちらかっていうと、その人たちの声が届きにくかったっていうところがあると思うので。これから、小山市も若者の人たちの声をちゃんと聴けるような、そういう体制にしていきたいと思いました。これからはよろしくお願いします。

○篠原シティプロモーション課長

ありがとうございました。それでは最後、小山高校生プロジェクトの白岩さんから感想などをお願いします。

○白岩大夢さん

小山高校 2 年の白岩大夢です。今回のこのおやま MIRAI 若者会議を通して思ったことは、やっぱり話し合って大事なんだなって思いました。最初の方のスライドにもあったように、皆さん配られたお茶の下のコースターに書いてあるんですけど、小山市の魅力がイラストで描かれていて、スライド見ていく中で、知らなかったとか、そういう魅力がたくさんあると思うんですよ。そういうのを知れて、そこで終わっちゃ駄目なんですよ。魅力を知ったら、それをもっといろんな人たちに伝えて、その小山市の知名度を上げていくっていうか、自分たちから能動的に、小山市をより良くしていこうとか思わないと大げさに言うと、自分たちで小山市を、責任を持ってじゃないですけど、自分たちが小山市について考えていくことで、小山市がより良くなっていたのかなと思いますし、今回の市民フォーラムを通して、いろいろ話し合いが進んで、フェスをやりたいとか、こういったイベントがあったらいいなっていうように意見が膨らんだと思うんですけど、実現するかしないか、実現するに越したことはないんですけど、実現しなかったとしても、その話し合いの過程がすごい大切だなって思っていて、何も話がなかったら始まらないわけじゃないですか。何か話し合いを起こして、しかも、若者がこのフォーラムで話し合いをすることで、行政の方が動いてくれたり、そういったことに繋がると思うので、まずは話し合いが大切だなっていうふうに思いました。

このフォーラムを企画してくださった市長さんはじめ、シティプロモーション課の皆様、そして運営してくださった運営委員会の皆様ありがとうございました。

最後に宣伝になってしまうんですけど、配られた資料にこういうのがあると思うんですけどちょっと見て欲しいんですけど。小山高校生まちづくりプロジェクト、小山の魅力発信隊ということで、高校生がこんな活動しています。ちょっと突然なんですけど、メンバーの方立っていただいて、何も喋れとか言うわけじゃないんで。立ってもらって。今日、来てくれてる人が、5人なんですけど、本当は 11 人いて、その 11 人が小山市に在住在学している高校生で構成されていて、小山の魅力だったり、小山の課題点を見つけて、そういったものを改善していこうというようなことで活動を進めています。栃木高校生蔵部さんみたいに、歴史が長いわけではなくて、去年から始まったんですけど、一番上に書いてあるようにInstagramとかもやってるので、もしよかったらフォローしていただいて、Instagramだとイベント情報とか、始めたばっかなんで数は少ないですけど、どんどん投稿していくつもりなので、よかったらフォローしてください。ありがとうございました。

○篠原シティプロモーション課長

ありがとうございました。最後事務局からご連絡で、参加者の特典なんですけれども。終わった後に付箋を貼っていただいて、事務局から連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。それとアンケートをご用意してまして、今回記名式になってまして、ぜひ今後、総合政策課の田園環境都市ビジョンですとか、先ほどの生涯学習課の活動ですとか、同意いた

だける場合はチェックしていただければ、うちの方からあらためて連絡させていただきますのでよろしくお願いします。

最後に記念撮影を、チーム事をやりましてそのあと全体でとってそれで閉会ということにさせていただきます。これから事務局で、準備いたしますのでそのままお待ちください。

(終了)